

患者説明文書

関節リウマチ患者における「生活の質」の年代別経年変化に関する観察研究へのご協力のお願い

「生活の質」(quality of life, QOL)の向上は関節リウマチの治療目標の一つです。薬物療法の進歩によって関節リウマチの治療成績は向上したといわれますが、一方で患者の高齢化による身体機能の低下もあり、RA患者のQOLが実臨床で向上したのかに関して明確な本邦でのデータはありません。当科の外来診療データベースにおいて、年代を加味したQOL指標の変化を検討することが、よりよいリウマチ診療を実現に寄与できると考えて以下の研究を行いますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

2. 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院リウマチ内科	福田 互(責任研究医師)
京都第一赤十字病院リウマチ内科	角谷 昌俊(分担研究医師)
京都第一赤十字病院総合内科	尾本 篤志(分担研究医師)
京都第一赤十字病院リウマチ内科	楠岡 宏朗(分担研究医師)
同専攻医	須永 敦彦(分担研究医師)

3. 研究の方法

当院リウマチ内科外来に通院中で当科患者データベース2011～2020(2011年9月～2020年12月)に登録された方を対象として、自ら記載していただいた「生活の質」指標であるEQ5D、身体機能の指標であるJHAQおよび関節リウマチの病態や治療に関わる因子を抽出して検討します。抽出するデータは、以下の通りです。

- ①患者基本情報:性、年齢、罹病期間、身長、体重など
- ②疾患関連情報:腫脹・疼痛関節数、全般VAS、各種血液検査データ
- ③EQ5D、JHAQ

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院リウマチ内科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。

本研究の結果は、個人情報保護に十分な配慮を行った形で、学会発表・医学論文として公表する予定です。

4. 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

5. 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 リウマチ内科

電話 075-561-1121 (代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 福田 互 (wataru-fukuda@kyoto1-jrc.org)